

第1号議案 2023年度事業報告及び収支決算の件

(1) 2023年度事業報告

2023年度も理事会でご承認いただきました事業を着実に進めてまいりました。しかしながら、増収減益の決算となってしまいました。最大の理由は、調査事業の2024年度計画の決定が遅れたことによって、収入の一部が2024年度にずれってしまったことによるものです。

その他の事業につきましては概ね予定通りに進めてまいりました。

2013年度から北海道庁から事業委託を受けております、北海道食のキーパーソン育成事業「フード塾」の成果が評価され、来期は新たなコースの拡充がされることになりました。

北海道での事業をさらに拡大するとともに、他地域への展開も視野に入れた基盤づくりを進めてまいりました。

また、理事各位のご協力により会員数も100社に手が届くところまでに拡大しました。今後も将来を見据えながら、会員の皆様にとって有意義な活動をしてまいります。

1. 会員事業

①総会 2023年5月31日(水)

*記念講演会：株式会社商人舎 代表取締役社長 結城義晴氏

「‘23両利きトレードオン」

～「ポストコロナ時代」の思考法～

②機関誌「流通問題」発刊

・59-1号(2023年5月25日発刊)

特集「人とのつながりが育む流通の価値創造」

・59-2号(2023年11月25日発刊)

特集「日本の食と北海道－北海道フード塾の10年」

③IDR通信(Vol.151～162)

④会員数：92社(2024年3月1日現在)

2. 収益事業

<調査事業>

①消費者動向調査((株)プラネット様からの委託調査)

■アジア3か国(中国、台湾、韓国)の生活者インサイトと
日本製品の利用動向調査

■日本国内消費動向調査

<IDR主催セミナー事業>

①IDR研究交流会

■第344回(2023年8月4日)：ハイブリッド(参加者27名)

『業務改善の仕組みの作り方』

～課題の見える化&標準化で、人が育ち組織が回る～

業務改善コンサルタント 西野 紳哉氏

■第345回(2023年10月12日)：ハイブリッド(参加者23名)

『職場におけるメンタルヘルス対策』

～ライン上の管理者が担う部下のメンタルケア～

株式会社アルプスビジネスクリエーション 甲斐 和子氏

■第346回(2024年1月16日)：オンライン(参加者33名)

『妄想力』

～答えのない世界を突き進むための最強仕事術～

株式会社グリッド CEO/株式会社吉野家 CMO 田中 安人氏

- ②第 40 回流通問題アカデミー（2023 年 10 月 14 日）（参加者 33 名）
- 『小売業の競争戦略と営業利益拡大策』：ハイブリッド形式
株式会社西友代表取締役社長/株式会社リテイルサイエンスファウンダー
大久保 恒夫氏
- ③第 3 期「食品流通の未来を考える」
- 『Beyondコロナの新しい社会における流通の役割とは』
（2023年11月～2024年3月・計7回/参加者：15社82名）
協力(株)ジャパン・インフォレックス/後援：日本食糧新聞社
講師：西田邦生/白鳥和生/越尾由紀/鈴木康弘/結城義晴/
大久保恒夫（敬称略）
- ④特別セミナー
- 『2023食品業界の動向を探る』（4月18日：参加者48名）
～生活者起点流通の動向を探る～
講師：白鳥和生/平山勝己/木村良（敬称略）

<研究会事業>

①研究会事業

- 40期IDRチャンネル戦略研究交流会
（2023年5月～2024年3月・参加企業11社19名）
テーマ：『コロナとの決別ー環境変化の中での新需要開拓』
ーコロナ禍で変容した生活者の意識や新たなニーズをビジネスチャンスに
変えるー

<受託研修事業>

- 「第 11 期 北海道地域フード塾」
絶品コース：28 名、事業化コース：5 名
- 「北海道ワインアカデミー（マーケティングコース）」
- 「全米販:創造力・イノベーション開発研修」（参加者 25 名）

<HCF 主催事業>

- 「第 16 回ホビークッキングフェア 2023」（4月27～29日）
来場者数 75,576名